

## 反転が生み出す論文執筆のブレークスルー ー ディスカッションベースの論文投稿ファシリテーション ー

オーガナイザ：瀬田 和久（大阪公立大学），村上 正行（大阪大学），後藤田 中（香川大学），  
田中 孝治（金沢工業大学），高木 正則（電気通信大学），山崎 治（千葉工業大学）  
近藤 伸彦（東京都立大学），山元 翔（近畿大学）

JSiSE 学会誌編集委員会では 2015 年まで、全国大会プレカンファレンス企画として、チュートリアルを実施してきました。以下は、これまでの本企画のチュートリアルの例です。

- ・ 編集担当委員が語る JSiSE 論文投稿入門
- ・ 論文投稿から掲載までの流れ，投稿に際しての注意
- ・ 論文種別と採録基準 ー現状と改訂の方向性ー
- ・ 査読の観点と査読コメントに対する対応のノウハウ
- ・ 教育現場の取り組みを実践系論文にまとめるには
- ・ 採録される論文の書き方 ー誌上チュートリアルー
- ・ 教育システム情報学における質的データを扱う学習評価のミカタ

学会誌では、一般号に加えて、特集号の投稿論文(例年 6 月 1 日締切)を募集しており、No.2 (4 月 1 日)にて発刊しております。この特集号の投稿に向けて、3 月には特集論文研究会を開催しています。特集論文研究会では、希望者は、閲読コメントを受けることができます。閲読方法もここ数年改善してまいりました。そこで、セッション前半では、昨年度改訂された執筆要領や査読票のテンプレート等も意識しながら、特集号に向けて上手く閲読をうけるために、特集論文研究会の活用方法をご紹介します。

■ 昨年度の改訂内容について詳細に知りたい方は、以下の解説記事をご参考下さい。

※オープンアクセス

(記事)瀬田和久，仲林清，桑原千幸：執筆要領の改定主旨

<https://www.jsise.org/wp-content/uploads/2022/09/shilppituyoukoukaiteisyushi.pdf>

また、セッション後半において、「反転+ディスカッションベース」の論文投稿の相談会を継続します。これは、7 年前 (2016 年) から、論文執筆チュートリアルに関するコンテンツを事前に視聴いただいた上で、対面での相談・議論に臨む相談会を実施しており、ご好評をいただき、本年度も継続するものです。本学会には、一般系論文 (一般論文，ショートノート) と実践系論文 (実践論文，実践速報) 4 つの論文カテゴリがありますので、例えば、論文投稿をしたいが 4 つの論文カテゴリの区別が判然としない方や、実践論文として満たさなければならない基準を知りたい方、研究を進める上でのポイントやヒントが欲しい方、査読における考え方を整理したい方など、投稿に関するあらゆる不安・お悩みについて、編集委員・参加者の知恵を合わせて、是非、一緒に考えたいと思います。

なお、一般・特集号に関わらず今後投稿を予定しておられ、編集委員 (Adviser) から論文執筆のアドバイスを受けた方 (Advisee) には、次の二つをお願いします。

1. 事前に以下の論文執筆チュートリアルコンテンツ (<https://www.jsise.org/paper/subguide/>) を閲読 (2021 年 4 月発刊の学会誌発刊 (38 巻 2 号) の 2 つの記事 ※オープンアクセス)

■ 一般系論文，実践系論文の位置づけ，考え方は以下の解説記事・映像をご参考下さい。

瀬田和久，桑原千幸，仲林清：採録される論文の書き方-誌上チュートリアル

(記事)[https://www.jstage.jst.go.jp/article/jsise/38/2/38\\_380203/\\_article/-char/ja/](https://www.jstage.jst.go.jp/article/jsise/38/2/38_380203/_article/-char/ja/)

(映像)[https://drive.google.com/file/d/1o\\_ozmlgK7Nr4okW420e0mmx3ln1QY6V6/view](https://drive.google.com/file/d/1o_ozmlgK7Nr4okW420e0mmx3ln1QY6V6/view)

■ 質的データに基づく学習評価の考え方は以下の解説記事をご参考下さい。

田中孝治，津森伸一：教育システム情報学における質的データを扱う学習評価のミカタ

(記事)[https://www.jstage.jst.go.jp/article/jsise/38/2/38\\_380204/\\_article/-char/ja/](https://www.jstage.jst.go.jp/article/jsise/38/2/38_380204/_article/-char/ja/)

(映像) <https://drive.google.com/file/d/1ljPKDb4ITHtt1PSaK5UcbDozLUSp9o00/view>

2. プレカンファレンス当日，投稿予定の研究内容や執筆上のお悩みをプレゼン（特に1.の閲覧に基づき，評価して欲しい「新規性」，「有用性」をプレゼンで提示下さい）

プレカンファレンス当日は，編集委員・参加者との対話・議論を通して，論文執筆へとつながるブレークスルーを見出していただきたいと思います。Adviseeの方は，事前に参加申し込みをお願いします（募集の詳細は学会員メーリングリスト jnews などでお知らせします。なお希望者多数の場合は選定させていただくことがございます）。学生や若手研究者をはじめ，投稿を検討されている方も対面・オンラインに関わらずご参加下さい。また Advisee でない方のご参加も歓迎いたします。Advisee のプレゼンや編集委員との議論を聴講していただくだけでも，歓迎いたします。